

メ モ

公益財団法人循環器病研究振興財団

平成30年度研究発表会

第15回循環器疾患看護研究助成研究発表
第6回日本光電循環器病研究助成研究発表

◆ 日 時 ◆

平成30年10月28日（日）9:20～10:20

◆ 会 場 ◆

大阪国際交流センター・第4会場（2階 さくら東）

◆ 共 催 ◆

公益財団法人循環器病研究振興財団
第15回循環器看護学会学術集会

研究発表会の開催にあたって

この度、第15回日本循環器看護学会学術集会の指定共同企画として、当財団の助成事業であります「循環器疾患看護研究助成」及び「日本光電循環器病研究助成」の研究発表会を開催することになりました。

本研究発表会を開催するにあたり多大なご尽力を賜りました、第15回日本循環器看護学会学術集会の旗持知恵子会長をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

さて、脳卒中、心筋梗塞などの急性疾患では看護の量的・質的な違いが患者さんの転帰に大きく影響するものであり、最近では色々な職種の専門家によるチーム医療の大切さが強調されています。

しかしながら、看護領域への公的な研究費は極めて少ないのが現状です。そこで、当財団では、「循環器疾患看護研究助成」を実施することにより、看護師の研究心を高めて頂くとともに、より質の高い看護の提供をして頂くための一助となることを願っております。

また、「日本光電循環器病研究助成」については、日進月歩の医療機器分野において、人工呼吸器やバイタルサイン・モニター等の適切な運用や新しい活用法などに関する研究課題に対して助成を行っております。

いずれの研究助成も研究課題を全国公募し、専門家で構成される選考委員会において審査基準をクリアした課題に対して、一定額の研究費を助成させて頂いております。

今後もこのような助成を継続的に実施していけるよう鋭意邁進して参る所存ですので、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

公益財団法人循環器病研究振興財団
理事長 北村 惣一郎

プログラム

■ 開会挨拶： 北村惣一郎（公益財団法人循環器病研究振興財団・理事長）

■ 座 長： 伊藤 文代（国立病院機構大阪医療センター・看護部長）

研究課題 1

カプセル内視鏡検査における医用テレメータ、送信機からの電波干渉の調査

■ 演 者： 中田 祐二（高槻赤十字病院・臨床工学技士）

研究課題 2

心電図モニター監視の正確性と安全性の向上に関する研究

■ 演 者： 時廣亜希子（国立循環器病研究センター・看護師長）

研究課題 3

人工呼吸器管理における安全確認行動促進を目指した介入の試み - 一般病棟の看護師への効果的介入プログラムの探索 -

■ 代理演者： 和田山智子（京都大学医学部附属病院・看護師長）
研究代表者： 高野 佳子（堀川病院・副看護部長）

研究課題 4

心臓血管外科術後患者への口腔ケアキッド導入によるIVAC発症率の検証

■ 演 者： 浅野 秀幸（国立循環器病研究センター・看護師）